

特集 いま人気を集める塾のキッズ部門の取り組み

わくわく文庫

株式会社 日本コスモトピア



わくわく文庫名古屋中央教室

「わくわく文庫名古屋中央教室」では、わくわく文庫とABメソッドを使った速読聴コースを開講しています。さらに、幼児早期教育の大切さを訴え、多くのお母様方からの支持を得ている「名古屋幼児教室」を併設しています。このキッズコースは、3歳から就学前までのお子様を対象で、年長になれば速読聴コースを受講することができます。教室を開いて7年目、現在生徒数は約100名で、3歳から中学生までが在籍。教室長は林美津代先生。平成26年3月には法人化。一般社団法人「子どもの脳と心を元気にする会」を設立、代表理事を務める。



林美津代先生

なぜ、「わくわく文庫」で教室を？

7年前、「これだ！」とピンときて、お子さんをわくわく文庫体験会に連れて行ったのがきっかけで、自ら教室を開いてしまったそうです。その背景には、林先生の強い想いがありました。「子どもたちは、楽しいことには集中します。」そして、「与えるだけではダメで、導くことが最も重要です。」と、きっぱりと話をされる林先生。「速読聴」で読書を「楽しみ」、毎月作文を「書く」ことで、国語力を養う。国語力がなくては深く学べない、その国語力の土台となるのが「読書」という想いを発信し続けてこられました。

幼児早期教育で子どもの脳と心の器づくりを

幼児期に多くの優れた絵本に親しみ、読書の楽しさを知ることが重要で、読み聞かせも、目と耳を同時に使い、言葉の土台をしっかりと養うことが大切なのだそうです。でも、もしこの大切な時期を逃して小学校に入ったとしても大丈夫！それは「わくわく文庫」と「ABメソッド」があるから、と先生は仰います。読書量が確保でき、楽しめて集中力がつき、さらに脳トレもできるからと。

わくわく文庫で土台を築いた子どもたち

あまり話さない文章は書けなかった子が、半年で明るく元気に話し、文章力がついてきた(Aさん)。読書嫌いだった子に、1倍速から始めて内容を理解しながら速度を上げていくよう導いたら、半年ほどで読書が好きになった(Bさん)先生の「すごいねー！」の積み重ねで、子どもたちはどんどん成長していきます。



「わくわく文庫」とは・・・

選りすぐりの文学作品を、プロの朗読音声聞きながら読み進めていく自立学習型「読書支援システム」です。「読み聞かせ+」読書という、まったく新しい読書のカたちを提案しています。徐々に朗読スピードを速くして読書することで、脳の活性化を促し、集中力を養います。読書に親しみ、文章を読むことに慣れると、国語以外の教科でも問題文の意味が理解できるようになり、問題を解く力も養われます。語彙も増えるのでコミュニケーションも上がり、子どもたちは「わくわく文庫」を通して、読む力、聴く力、考える力、表現する力を身につけることができます。

◆わくわく文庫の特長

- ・200タイトル以上収録（毎年書籍追加）
- ・マイコレクション（自分の本棚で履歴管理）
- ・朗読スピード：0.5～10倍速
- ・クイズ機能
- ・＜付録＞感想文シート など

◆わくわく文庫の効果的な使い方

- ・わくわく文庫は、幼児でもひらがなが読めるようになれば始めることができます。
 - ・わくわく文庫の授業時間数は1週間に1回～2回（幼児・小学校低学年では、1回の授業が20～30分の読書+表現タイム）
 - ・わくわく文庫と「脳トレ」プログラム（ABメソッド）や国語・算数・英語と組み合わせて「キッズコース」を開講できます。
- ※わくわく文庫の書籍タイトル、効果や実践事例などをお知りになりたい方は日本コスモトピアにお問い合わせください。



わくわく文庫実践教室へのアンケート ～受講生の変化について～

☐ 本を読むことが好きになった	92%
☐ 音読が上手にできるようになった	84%
☐ 国語だけでなく、他の教科も成績が上がった	72%

Room to Read とのパートナーシップ

Room to Read は、開発途上国において読み書き能力の向上と男女格差の是正に取り組む国際組織です。わくわく文庫収録作品の読まれた冊数に応じ、日本コスモトピアから Room to Read を通じ、世界のお友達へ本がプレゼントされます。



【お問い合わせ】

株式会社
日本コスモトピア

URL: www.cosmotopia.co.jp

〒532-0011

大阪市淀川区西中島4-9-28

TEL:06-6390-2100 FAX:06-6390-3678

教育事業本部第2課 担当：榎原